



松江城 堀川遊覧船

GREEN BANK

中間期ミニディスクロージャー誌

第168期 営業の中間ご報告

平成29年4月1日 — 平成29年9月30日

SHIMANE 島根銀行

ごあいさつ



会社概要 (平成29年9月30日現在)

| | |
|-------|-------------------------------------------------------------------|
| 創業年月日 | 大正4年5月20日 |
| 本店所在地 | 島根県松江市朝日町484番地19 |
| URL | http://www.shimagin.co.jp |
| 資本金 | 66億36百万円 |
| 店舗数 | 34店(島根県25店、鳥取県9店) |
| 従業員数 | 415名 |
| 預金残高 | 3,670億円 |
| 貸出金残高 | 2,609億円 |

Contents

| | |
|----------|----|
| ごあいさつ | 1 |
| 島根銀行について | 2 |
| 中期経営計画 | 3 |
| 業績ハイライト | 4 |
| CSRへの取組み | 7 |
| 中間連結財務諸表 | 12 |
| 中間単体財務諸表 | 13 |
| 株主の皆さまへ | 14 |

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当行は、平成28年4月より3か年計画でスタートしました中期経営計画「次の100年に向かって～自主独往路線を堅持しての地方創生への貢献～」の計画に基づき、経営ビジョンの実現を目指し、役職員一丸となって、様々な施策の実践に取り組んでおります。

本年2月にオープンしました新本店ビルは、「GREEN BANKしまぎん」をコンセプトに掲げ、お客さまの利便性向上や業務の効率化はもちろんのこと、地元と共に歩むことを使命として、最先端の環境保護・省エネ設備を採用するとともに、もしもの時には地域の防災拠点として機能を発揮できる設備を整えております。また、地域の皆さまに愛され、親しまれるシンボルタワーとなるよう、集いの場所としてご活用いただけるオープンスペースも設けております。

これからの100年に向けて、地域のエコと防災に積極的に貢献していくとともに、地域に根ざした銀行として、地域密着型金融をより一層強化し、お客さまの各種ニーズへのスピーディーな対応により、当地域の経済を支えていくという重要な使命を全うする所存でございますので、引き続きご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

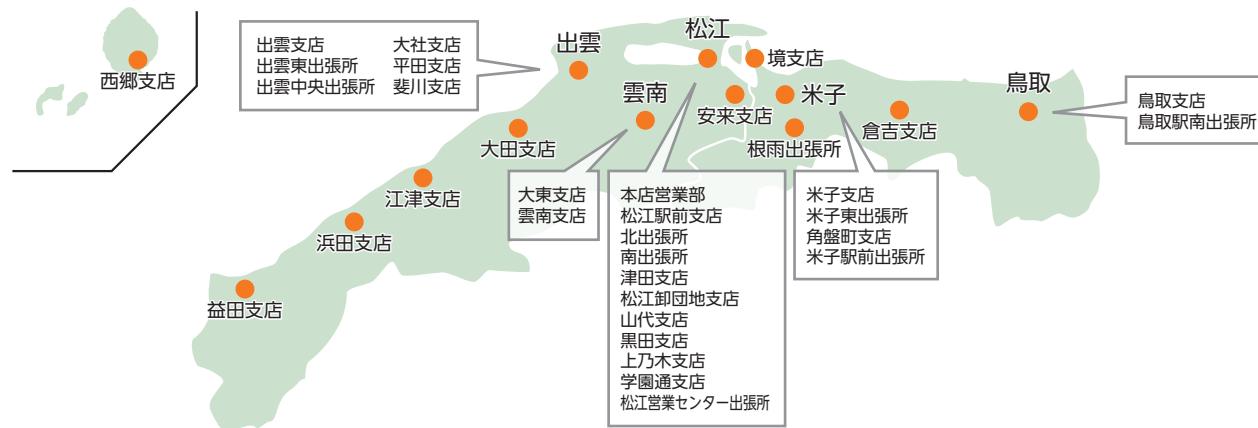
この度、経営情報を、より分かりやすく皆さまにお伝えするために、ミニディスクロージャー誌を作成いたしましたのでご案内いたします。

ぜひご一読いただき、当行へのご理解を深めていただければ幸いです。

平成29年12月
代表取締役頭取 **鈴木良夫**

島根銀行について

店舗網 (平成29年9月30日現在)



役員一覧 (平成29年9月30日現在)

| | | | | |
|---------------|---|---|---|---|
| 取締役頭取 (代表取締役) | 鈴 | 木 | 良 | 夫 |
| 取締役相談役 | 田 | 頭 | 基 | 典 |
| 常務取締役 | 若 | 槻 | 明 | 彦 |
| 常務取締役 | 飯 | 塚 | 貴 | 久 |
| 常務取締役 | 朝 | 山 | 克 | 也 |
| 取締役 | 金 | 築 | | 宏 |
| 取締役 | 松 | 井 | 和 | 城 |
| 取締役 | 吉 | 川 | 隆 | 博 |
| 取締役 | 竹 | 原 | 信 | 彦 |
| 取締役 (社外) | 上 | 野 | 豊 | 明 |
| 取締役 (社外) | 多 | 々 | 納 | 道 |
| 常勤監査役 | 小 | 谷 | 周 | 作 |
| 監査役 (社外) | 周 | 藤 | | 滋 |
| 監査役 (社外) | 石 | 原 | 明 | 男 |
| 監査役 (社外) | 岡 | 崎 | 勝 | 彦 |

関係会社 (平成29年9月30日現在)

松江リース(株)

当行の子会社であり、リース業務を行っております。

- 住所 島根県松江市西津田一丁目5番18号
- 設立年月日 昭和56年4月25日

しまぎんユーシーカード(株)

当行の関連会社であり、クレジットカード業務を行っております。

- 住所 島根県松江市朝日町484番地19
- 設立年月日 平成9年10月22日

中期経営計画

経営理念

1. 地域社会の発展に貢献し、信頼され、愛される銀行となる。
2. 常に魅力あるサービスを提供し、お客さまのニーズに積極的に応える。
3. 創造力豊かで、活力にみちた、明るい人間集団をつくる。

経営ビジョン

フェイス・トゥ・フェイスの精神の下、地域密着型金融を強化し、自主独往路線を堅持しつつ、質の高い金融仲介機能の発揮とそれを支えるための健全性の維持向上により、持続的成長と中長期的な企業価値の向上に努め、地方創生に貢献できる銀行

中期経営計画「次の100年に向かって」 【計画期間：平成28年4月～平成31年3月】 ～自主独往路線を堅持しての地方創生への貢献～

中期経営計画は、創業の原点（逼迫した庶民金融への貢献、産業の振興）を再確認のうえ、経営理念の下、次の100年に向かって、継続しての「人材の強化」「組織の強化」「営業の強化」「財務の強化」の4本柱の取組みにより、経営ビジョンの実現を目指します。

人材の強化

- 1 実践力ある人材の育成
- 2 コミュニケーション能力の向上
- 3 女性・若手行員の活躍促進
- 4 コンプライアンス意識の醸成

営業の強化

- 1 経営資源の集中投下による経営体制の強化
- 2 事業取引の対応強化
- 3 個人取引の対応強化
- 4 役員取引の対応強化

組織の強化

- 1 内部管理態勢の充実
- 2 社会的弱者・金融犯罪に対する適切な対応
- 3 危機管理態勢の充実
- 4 企業イメージの向上

財務の強化

- 1 自己資本の充実
- 2 信用コストの抑制
- 3 有価証券の適切なポートフォリオの構築
- 4 統合的リスク管理の高度化

中計数目標

経常収益

77億円

経常利益

9億円

自己資本比率

8%台

経常費用

68億円

純利益

7億円

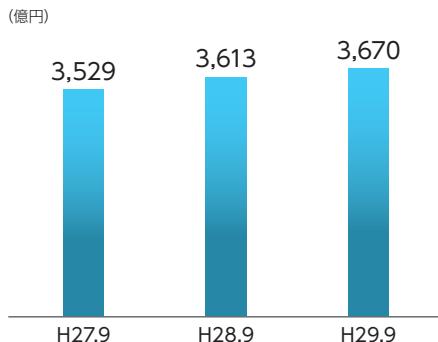
不良債権比率

3%台

業績ハイライト

預金

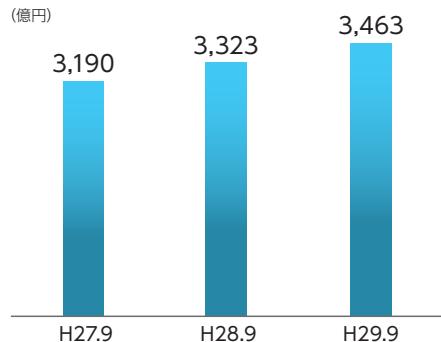
3,670億円



公金預金や法人預金が減少しましたが、個人預金が増加したことなどから、全体では前年同期比56億円増加し3,670億円となりました。

個人預り資産

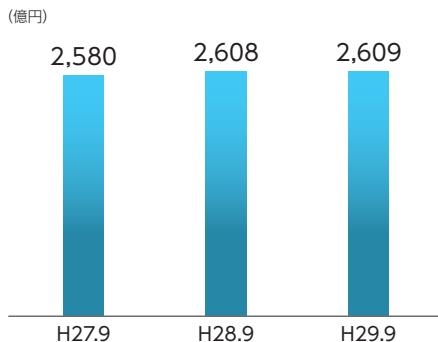
3,463億円



個人預金や年金保険等が増加したことから、全体では前年同期比139億円増加し3,463億円となりました。

貸出金

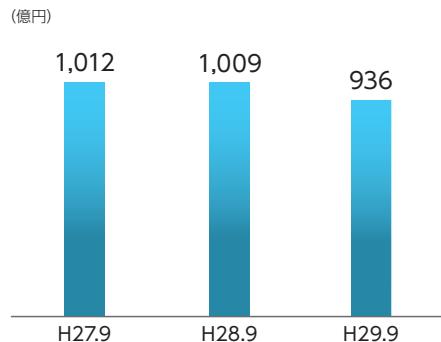
2,609億円



法人向け貸出金が減少しましたが、個人向け貸出金が増加したことなどから、全体では前年同期並の2,609億円となりました。

有価証券

936億円

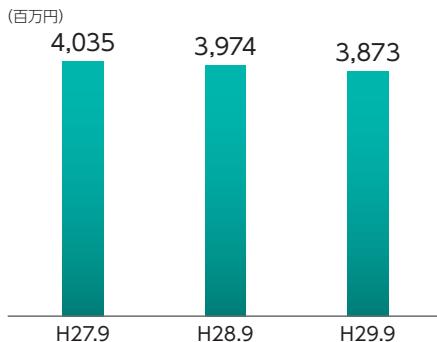


国債や社債等が減少したことから、全体では前年同期比72億円減少し936億円となりました。

業績ハイライト

経常収益

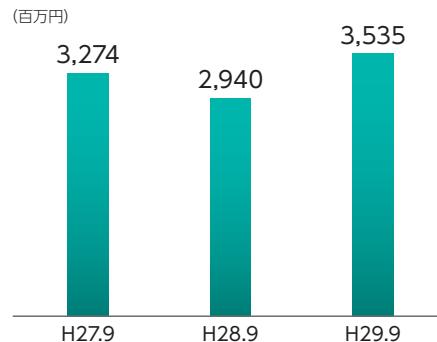
3,873百万円



有価証券関係収益が増加しましたが、貸出金利息が減少したことや、前年同期に計上していた貸倒引当金戻入益が当中間期はなかったことなどから、前年同期比100百万円減少し3,873百万円となりました。

経常費用

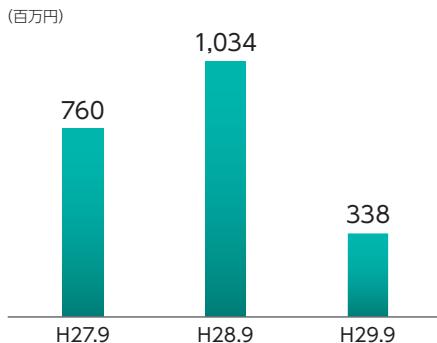
3,535百万円



与信関連費用や営業経費が増加したことなどから、前年同期比595百万円増加し3,535百万円となりました。

経常利益

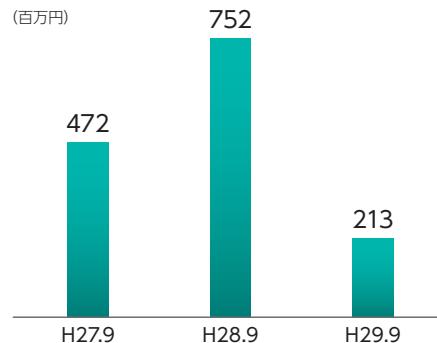
338百万円



前年同期比695百万円減少し338百万円となりました。

中間純利益

213百万円



前年同期比538百万円減少し213百万円となりました。

自己資本比率

8.53%



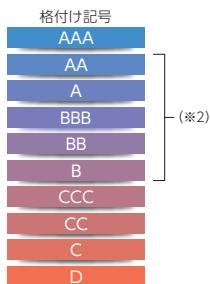
自己資本比率は、前年同期比0.56ポイント低下の8.53%となりました。

長期発行体格付 ^(※1)

当行では、経営の透明性の確保に向けた積極的なディスクロージャーの一環として、客観的な第三者機関からの評価を提供するため、株式会社日本格付研究所 (JCR) の長期発行体格付を取得しております。

平成29年9月末現在の格付けは「トリプルBマイナス」です。

- 格付け
- >> トリプルBマイナス
- 格付けの見通し
- >> 安定的
- 格付け機関
- >> 株式会社日本格付研究所 (JCR)

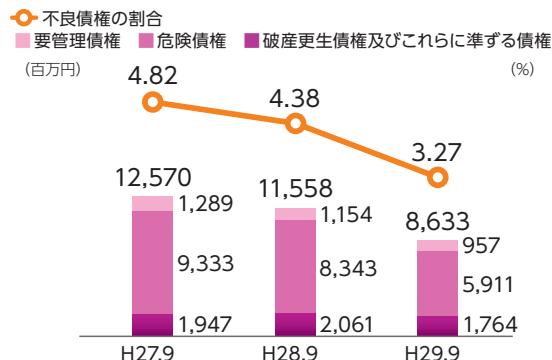


(※1) 長期発行体格付とは、債務者(発行体)の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を比較できるように等級をもって示すものです。

(※2) AAからBまでの格付け記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして、プラス (+) もしくはマイナス (-) の符号による区分があります。

不良債権の割合

3.27%



金融再生法開示債権額の総額は、8,633百万円、不良債権の割合は3.27%となっております。

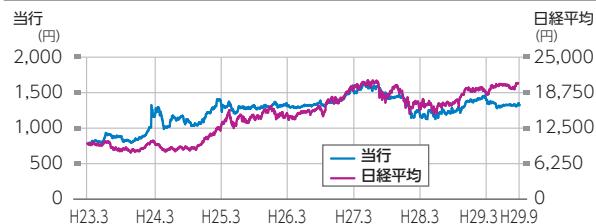
株価の状況

当行株式は、東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されております。(円)

| | 平成27年4月~平成28年3月 | 平成28年4月~平成29年3月 | 平成29年4月~平成29年9月 |
|-----|-----------------|-----------------|-----------------|
| 終 値 | 1,174 | 1,392 | 1,319 |
| 最 高 | 1,648 | 1,470 | 1,416 |
| 最 低 | 1,141 | 1,106 | 1,277 |

(注) 終値及び最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものです。

株価(終値)の推移



CSRへの取組み

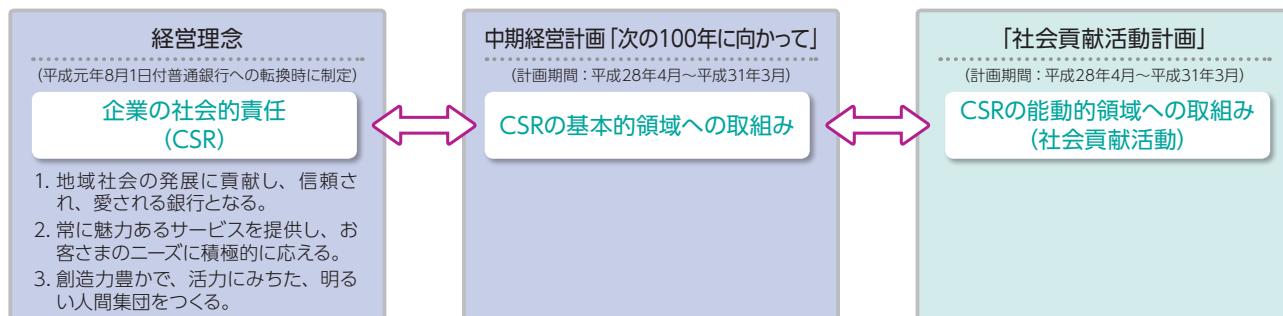
■ 企業の社会的責任 (CSR) に対する当行の考え方

当行は、従来から企業の社会的責任（以下、「CSR」という。）の重要性を強く認識し、CSRへの取組みを「経営理念」の一つとして掲げた上で、この具体的な取組みを経営計画などで明確化し、実効性を確保しております。

その具体的な取組みにおいては、CSRの基本的領域ともいふべき、経済的責任、遵法責任、倫理的責任を果たすべく、収益性・健全性の向上や内部管理態勢の強化などに向けた取組みを着実に実施するとともに、株主の皆さま、お客さま、地域の皆さま、従業員などのステークホルダーの皆さまからの様々なご期待にお応えできるよう、地域貢献や地域環境の保全など、能動的領域の取組みともいふべき、社会貢献活動についても従来から積極的に推進しております。

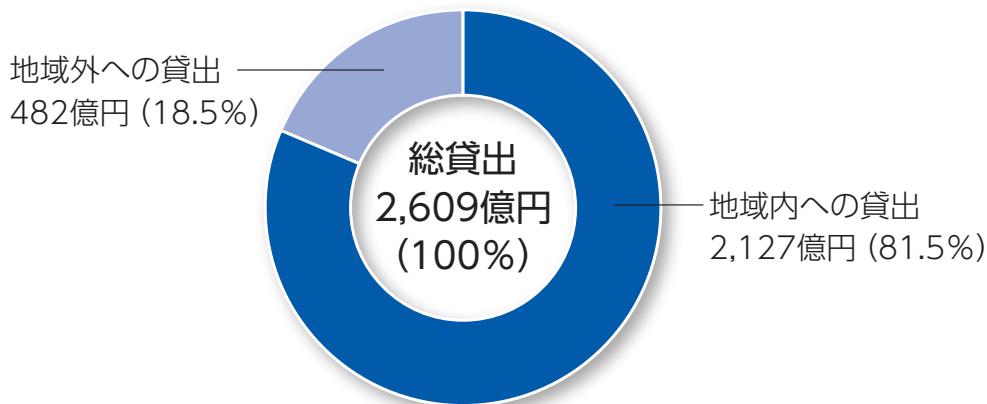
また、取組みにあたっては、ステークホルダーの皆さまとの繋がりが何よりも重要であると考え、法令等で開示が求められている事項はもちろんのこと、「しまぎん経営情報説明会」（山陰各地区で年1回開催）やディスクロージャー誌などを通じて、社会貢献活動に関する情報を積極的に開示しております。

平成28年4月～平成31年3月においては、中期経営計画「次の100年に向かって」（計画期間：平成28年4月～平成31年3月<3年間>）に加え、当行役職員の社会貢献活動に対する意識の更なる醸成に向けて策定した、「社会貢献活動計画（計画期間：平成28年4月～平成31年3月<3年間>）」に基づき様々な取組みを実施することにより、企業価値の向上を図り、経営理念の具現化並びにCSRの全うを目指してまいります。



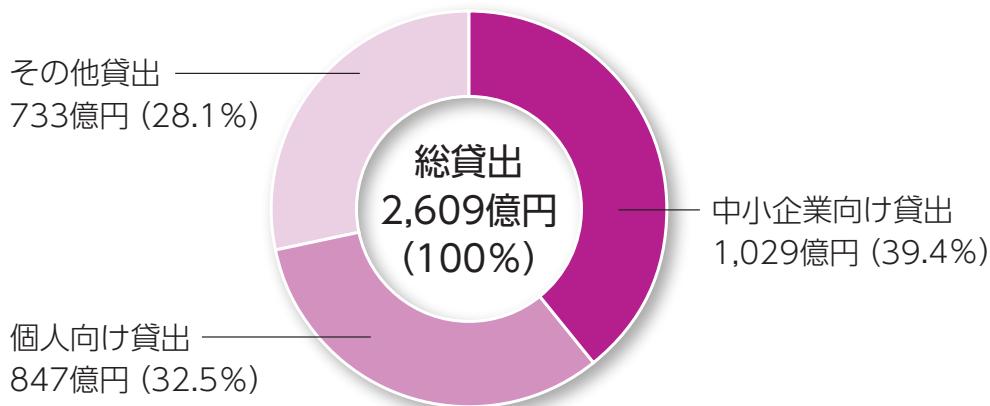
■ 地域内における貸出状況 (平成29年9月30日)

地域のお客さまからお預かりした大切なご預金のほとんどを地域内の貸出に向けており、その残高は貸出金全体の81.5%を占めております。



■ 中小企業や個人のお客さまへの貸出状況 (平成29年9月30日)

地域の中小企業や個人のお客さまへの貸出を積極的に行っており、その合計残高は貸出金全体の71.9% (うち、中小企業向け貸出39.4%、個人向け貸出32.5%) を占めております。(中小企業向け貸出は、地方公社を含む)



CSRへの取組み

社会貢献活動計画

当行役職員の社会貢献活動に対する意識の更なる醸成に向けて策定した「社会貢献活動計画」に基づき、その実践に努めてまいります。

〈社会貢献活動の枠組み〉

当行における社会貢献活動の枠組みは、以下のとおりでございます。



当行は、社会貢献活動の一環として、次のような取組みを行っております。



地域振興への取組み

地域振興に資する事業の支援、各種セミナーの開催等に取組んでいます。

「しまぎん住宅営業セミナー」の開催

平成15年度から、主に住宅関連企業の営業担当者さまを対象としたセミナー（参加費無料）を開催し、住宅に関する専門知識や経営・営業に関する内容等、お客さまのお役に立つ様々な情報を提供しております。

平成29年度においては、大倉啓克氏（株式会社アフェクト代表取締役）を講師にお招きし「おもしろいほど売れるヒアリング型住宅営業」をテーマとして開催し、多くの皆さまにご参加いただきました。

（参加実績：5会場計…81社167名）



地域貢献への取組み

地域社会全体の活性化に貢献する活動への支援や参加等に取組んでいます。

地域防災への貢献 松江市と「一時滞在施設への帰宅困難者の受入に関する協定」を締結

新本店ビルにおいては、災害時に電源などを自ら確保することで自立し、地域の防災拠点となることのできる設備を整えております。

特に、地震対策としては、5つの免震装置を設置（中間階免震構造の採用）しており、震度6強の地震が発生しても建物の構造に損傷を受けない建物となっております。

平成29年2月には、松江市と「一時滞在施設への帰宅困難者の受入に関する協定」を締結し、新本店ビルが、松江市の「帰宅困難者一時受入施設」に指定されました。

地震や台風などの大きな自然災害で交通網が被害を受け、帰宅困難者等が出た場合は、1階のオープンスペースと3階の大会議室を開放し、約100人を収容することができ、そして、100人がそのまま3日間を過ごせるだけの飲料水と食料品、毛布などの防災用品を常時蓄えております。



お客さま利便性向上への取組み

店舗環境整備、ATMやインターネットバンキングの機能強化等に取組んでいます。

機能的な新本店ビル JR松江駅前の好立地、より快適に、より便利に

新本店ビルは、JR松江駅から近いことから交通の便も良く、より機能的で、お客さまにご利用いただきやすい本店に生まれ変わりました。

2階には、山陰地区では例のない長時間営業の自動貸金庫を設置しております。

さらに、平成29年2月より、観光客等、国内外のお客さまの利便性を向上させるため、海外発行カード対応ATMを設置しております。

また、営業フロアについてはバリアフリーとし、車いすの方でも支障なくご利用いただける設計としております。



CSRへの取組み



社会問題への取組み

金融犯罪に対する被害の未然防止、この被害に対する補償等に取組んでいます。

インターネットバンキングのセキュリティ強化等

全国的にインターネットバンキングの不正送金被害が拡大している状況を踏まえ、不正アクセス等による被害の未然防止のため、ワンタイムパスワードをお客さまに推奨する等、お客さまに安心してインターネットバンキングをご利用いただくためセキュリティ強化に取り組んでいます。

また、全国的に不正利用目的での口座開設が増加しており、平成27年10月にインターネット普通預金の口座開設時における取引時確認のチェック体制を強化しております。

なお、万が一お客さまが不正送金被害等に遭われた場合、法人のお客さまは1契約先あたり年間1,000万円、個人のお客さまは全額補償する被害補償制度を設けております。

今後も全国の金融機関及び警察と連携、情報共有を図り、金融犯罪対策の強化に努めてまいります。



環境問題への取組み

省エネ・省資源活動の参加等に取り組んでいます。

省エネ・省資源活動への取組み

地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE (=賢い選択)」の趣旨に賛同し、日常的に「クールビズ」「ウォームビズ」等の省資源につながる行動を行っております。

また、平成29年2月より営業を開始しました新本店は「省エネビル」として南西と北東の建物内部角面に設置したツインコーナーエコポイド(吹き抜け空間)により自然換気の促進及び太陽熱の回収を図るとともに、省エネ空調システムとの併用により快適性と省エネ性を両立する建物となっております。各営業店においては、エコカーへの更新、LED照明の推進あるいは再生可能エネルギーを利用した電力供給先の採用等、銀行全体で省エネ・省資源活動に向けた取組みを進めております。



未来のために、いま選ぼう。



職場環境整備への取組み

従業員の働きがいが、サービス・お客さま満足度の向上につながるの考えの下、職場環境整備に取り組んでいます。

人材育成及び職場環境の充実

女性の活躍推進にかかる意識・取組みを更に加速させていくための行動計画である「女性活躍アクションプラン～しまぎんの取組み～」に基づき、女性活躍推進等に資する行内外研修を充実・実施するとともに、出産・育児によりキャリア形成の機会を逸しないような人事考課制度を確立するなど女性行員のキャリア意識の向上や女性のキャリア形成支援等に積極的に取り組んでいます。また、外部専門機関を通じて労働安全衛生法に基づくストレスチェックを実施し、行員のストレス状況への気づきを促すことや、職場環境の改善などを通じ、メンタルヘルス不調を未然に防ぐなど明るく働きがいのある職場作りを目指す取組みを行っております。この他、お客さまに、迅速、正確、良質、あたたかいサービスを提供すべく、外部専門機関と連携した研修の実施等により、お客さま満足度の向上に努めております。

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科目 | 当中間連結会計期間末 (平成29年9月30日現在) |
|----------------|------------------------------|
| 資産の部 | |
| 現金預け金 | 40,833 |
| 買入金銭債権 | 2,599 |
| 有価証券 | 93,219 |
| 貸出金 | 259,371 |
| 外国為替 | 2 |
| リース債権及びリース投資資産 | 4,267 |
| その他資産 | 2,453 |
| 有形固定資産 | 10,304 |
| 無形固定資産 | 439 |
| 退職給付に係る資産 | 134 |
| 繰延税金資産 | 43 |
| 支払承諾見返 | 7,567 |
| 貸倒引当金 | △ 2,139 |
| 資産の部合計 | 419,098 |
| 負債の部 | |
| 預金 | 366,685 |
| 借入金 | 21,002 |
| 社債 | 1,510 |
| その他負債 | 1,352 |
| 役員退職慰労引当金 | 199 |
| 睡眠預金払戻損失引当金 | 20 |
| 偶発損失引当金 | 40 |
| 本店建替損失引当金 | 175 |
| 繰延税金負債 | 626 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 525 |
| 支払承諾 | 7,567 |
| 負債の部合計 | 399,705 |
| 純資産の部 | |
| 資本金 | 6,636 |
| 資本剰余金 | 472 |
| 利益剰余金 | 8,334 |
| 自己株式 | △ 43 |
| 株主資本合計 | 15,400 |
| その他有価証券評価差額金 | 2,847 |
| 土地再評価差額金 | 1,085 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 38 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,971 |
| 非支配株主持分 | 20 |
| 純資産の部合計 | 19,392 |
| 負債及び純資産の部合計 | 419,098 |

*記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科目 | 当中間連結会計期間 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで) |
|-----------------|--------------------------------------------|
| 経常収益 | 5,257 |
| 経常費用 | 4,868 |
| 経常利益 | 388 |
| 特別損失 | 3 |
| 税金等調整前中間純利益 | 385 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 26 |
| 法人税等調整額 | 112 |
| 法人税等合計 | 138 |
| 中間純利益 | 246 |
| 非支配株主に帰属する中間純利益 | 0 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 245 |

*記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間単体財務諸表

第168期中 中間貸借対照表

(単位：百万円)

| 科 目 | 当中間会計期間末 (平成29年9月30日現在) |
|--------------|----------------------------|
| 資産の部 | |
| 現金預け金 | 40,547 |
| 買入金銭債権 | 2,599 |
| 有価証券 | 93,667 |
| 貸出金 | 260,972 |
| 外国為替 | 2 |
| その他資産 | 932 |
| 有形固定資産 | 10,243 |
| 無形固定資産 | 435 |
| 前払年金費用 | 79 |
| 支払承認見返 | 7,567 |
| 貸倒引当金 | △ 1,983 |
| 資産の部合計 | 415,064 |
| 負債の部 | |
| 預金 | 367,076 |
| 借入金 | 17,635 |
| 社債 | 1,500 |
| その他負債 | 1,299 |
| 役員退職慰労引当金 | 199 |
| 睡眠預金払戻損失引当金 | 20 |
| 偶発損失引当金 | 40 |
| 本店建替損失引当金 | 175 |
| 繰延税金負債 | 608 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 525 |
| 支払承認 | 7,567 |
| 負債の部合計 | 396,647 |
| 純資産の部 | |
| 資本金 | 6,636 |
| 資本剰余金 | 472 |
| 利益剰余金 | 7,418 |
| 自己株式 | △ 43 |
| 株主資本合計 | 14,483 |
| その他有価証券評価差額金 | 2,847 |
| 土地再評価差額金 | 1,085 |
| 評価・換算差額等合計 | 3,933 |
| 純資産の部合計 | 18,417 |
| 負債及び純資産の部合計 | 415,064 |

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

第168期中 中間損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 当中間会計期間 (平成29年4月 1日から 平成29年9月30日まで) |
|--------------|-------------------------------------------|
| 経常収益 | 3,873 |
| 経常費用 | 3,535 |
| 経常利益 | 338 |
| 特別損失 | 3 |
| 税引前中間純利益 | 334 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 9 |
| 法人税等調整額 | 111 |
| 法人税等合計 | 120 |
| 中間純利益 | 213 |

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主の皆さまへ

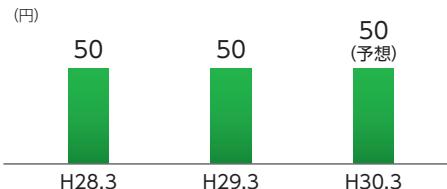
株式の状況 (平成29年9月30日現在)

| | |
|------------|----------|
| 発行可能株式総数 | 18,600千株 |
| 発行済株式の総数 | 5,576千株 |
| 株主数 | 4,889名 |
| 議決権を有する株主数 | 4,179名 |

株主メモ

| | |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 決算日 | 3月31日 |
| 定時株主総会 | 6月中 |
| 配当金受領株主確定日 | 期末配当金:3月31日 中間配当金:9月30日 |
| 株式事務取扱場所 | |
| 株主名簿管理人 | 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 |
| 同事務取扱場所 | 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 |
| 〔郵便物送付先〕 お問合せ先 | 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎ 0120-707-843 |
| 公告掲載方法 | 電子公告による公告とし、当行ホームページ (http://www.shimagin.co.jp) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 |

1株当たり年間配当金の推移



株式分布の状況 (平成29年9月30日現在)

所有者別状況



所有株数別状況



IRカレンダー (予定)

- 中間期ディスクロージャー誌発行
- 第3四半期決算短信開示

1月

2月

- 第3四半期報告書提出

5月

- 決算発表

6月

- 3月期ミニディスクロージャー誌発行
- 有価証券報告書提出



平成29年12月発行
株式会社島根銀行
島根県松江市朝日町484番地19
URL : <http://www.shimagin.co.jp>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



この報告書は環境に
配慮した植物油インキを
使用しています。